



(注) アンダーライン部分が 2023 年(令和 5 年)度の改正点

全日本女子硬式野球大会規則

全日本女子硬式野球大会規則は、2023 年度公認野球規則・アマチュア野球内規・全日本女子硬式野球内規に準じ、次に定める規定を適用する。

【1】大会規則

1. 指名打者 (DH) の採用を認める。
※ただし、2023 年度野球規則改正で採用された「大谷ルール」は採用しない。
2. 7 回を終了した時点で同点の場合は「延長回に関わる特別規則 (タイ・ブレイク)」を適用する。
(全日本女子硬式野球内規 (試合について 4))
3. 天候状態その他の理由で試合続行が不可能となり、球審によって打ち切りを命じられた試合が正式試合となる規定回数は 5 回とする。降雨により試合成立前に継続が困難となった場合は継続試合を行う。また、日没になる可能性がある試合は、試合開始前に大会本部、審判員、両チーム監督を含めて確認・協議し、継続試合とする。
4. 3 回終了以降で 10 点以上、5 回終了以降で 7 点以上の得点差がある場合、コールドゲームを適用する。(全日本女子硬式野球内規 (コールドゲーム 5))
5. 審判員の裁定が規則の適用を誤って下された疑いがある場合は、監督と当該プレーヤーだけがアピール権を行使することができる。
6. タイムは監督、コーチおよびプレーヤーが申請できる。
7. 審判員は監督、コーチおよびプレーヤーが裁定に異議を唱えたり、スポーツマンシップに反する言動をとった場合には、その判断において必要とあれば、その当該監督、コーチ又はプレーヤーのその出場資格を奪って試合から除くように責任者である監督に進言することができる。但し、最終決定は当該チームの監督、代表者と大会本部で行うものとする。
8. 監督、コーチ (伝令を含む) がマウンドに行ける回数は、1 試合 (7 イニング) につき [守備時] 3 回とする。また攻撃側の話し合いのためタイムをとる回数は [攻撃時] 3 回とする。いずれも [1 回につき] 45 秒以内とする。なお延長回はそれぞれ 1 イニングにつき 1 回までとする。(女子野球内規(スピードアップに関する取り決め事項))
9. ユニフォーム着用については、全日本女子硬式野球内規に準ずる。代表者、マネージャー、トレーナー等スタッフは、この限りではないが、可能な限りチームのユニフォームに準じたスポーツウェアを着用すること。Tシャツ・短パンなどの私服軽装は禁ずる。
10. ユニフォームシャツ忘れなどにより、他者のユニフォームを借用するなど、登録原簿と異なる背番号で試合に出場することは許されない。
11. その他、問題が生じた場合には審判員と大会本部が協議して決定する。

【2】危険防止のため次の用具を使用する

1. ウェイティングサークルでの素振りにはバットおよびマスコットバットの使用を認め、鉄棒 (鉄パイプを含む)、長尺バットおよびバットリングは使用してはならない。
2. ウェイティングサークルには、バット、マスコットバット、ロージンバッグ、バットスプレー (各 1) 以外の物は持ち込めない。但し、球場があらかじめ用意している物はこの限りではない。

【3】競技運営

1. 試合中は、対戦表左側のチームが 1 塁側、もう一方が 3 塁側のベンチを使用する。
2. ベンチ入り人数は、大会登録名簿に記載された役員 (監督、コーチほか) 5 名以内とプレーヤー 11 名以上、25 名以内の計 30 名以内とする。但し、特別な事由として大会本部が認めた場合はこの限りではない。
3. 試合中ベンチに持ち込める用具は、野球用具、メガホン (2 本以内)、作戦ボード、給水タンク、医薬品など競技に関わる物のみとし、直接競技に関わらない用具、用品、映像記録機器 (スマートフォン・カメラ・ビデオなど) の持ち込みを禁止する。但し、デジタルスコアブックを利用するなどチームの競技運営に必要な場合は事前に大会本部に申請し、許可を得る。
4. 先攻後攻の決定、メンバー表交換は、第 1 試合は試合開始予定時刻の 1 時間前、第 2 試合以降は前の試合の 3 回裏終了時に大会本部にて行う。メンバー表には、必ずふりがなを付け、大会本部で登録メンバーの照合を受けることとする。メンバー表交換時点、交換後の誤記については、内規の試合について 7. の通りとする。



(注) アンダーライン部分が 2023 年(令和 5 年)度の改正点

5. 背番号は、00番、0番から99番を使用することを認める。(2025年以降は00と0の使用ができない)
6. 大会出場に際し、プレイヤーの複数チームにわたる重複登録は認めない。但し、役員(監督、コーチほか)はその限りではない。
7. 事前になんらかの許可を経っていない大会未登録プレイヤーの出場が判明した場合、没収試合[違反チームの不戦敗●0-7]とする。
8. 試合前のフィールドイング練習は後攻チームから行い、互いに7分間とする。ノッカーも必ずユニフォームを着用すること。ただし【1】の9に定めるとおり、ノッカーのユニフォーム着用が困難な場合は事前に主催者に許可をとるものとする。
なお、大会運営の関係で時間を短縮、省略する場合がある。
9. 試合開始時刻は、前試合が早く終了した場合、予定時刻より前でも次試合の開始を早める場合がある。その逆に前試合が延長された場合、次試合開始時刻が遅れる場合がある。なお、天候不良により第1試合の開始時間を変更する場合があり、その場合は前日に第1試合のチームに通知される。
10. 雨天時、球場が使用可能な状態の場合は原則試合を行う。但し、審判員の判断によって、試合が中断される場合がある。また、審判員はプレイヤーの健康上の問題から、試合続行が難しいと判断した場合は、大会本部と協議後、ノーゲームまたはサスペンデッドゲーム、ゲームセットを宣告することができる。
11. 天候不良によるスケジュールおよび日程変更については次の通りとする。大会期間中、各日雨天の場合は翌日に順延し実施する。但し、2日以上雨天中止となった場合、上記以外の状況の際などには、審判員と大会本部が協議して決定する。
12. 特別な事由なく、試合開始時刻になっても会場にこないチームは棄権[不戦敗●0-7]とみなす。
13. 次試合チームのブルペン使用は、試合中のチームが使用している場合を除いて、4回以降の使用を許可する。
14. 試合前のアップは、各チームが球場外の任意箇所で、他の迷惑にならないよう行う。

【4】アンチ・ドーピングについて

当連盟では、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)が提唱する「アンチ・ドーピングを通して考えるスポーツのフェア」に賛同し、大会におけるプレイヤーのドーピング違反を排除する活動を行う。大会期間中、ランダムにドーピング検査を行う可能性があり、テストステロンなど競技に著しく影響を及ぼす違反薬物の使用が発覚したプレイヤーについては、当連盟および上部団体と協議の上、しかるべき処分を受けることになる。さらに、上位に入賞したチームの中に当該選手がいた場合、入賞は取り消しとする。

【5】大会における肖像、著作物の商業利用

参加チームは、主催団体、関係団体、報道関係が大会告知、広報的な目的や試合配信、また商業的な目的で大会を撮影(文書・画像・映像・音声等)し、関係媒体で使用する事や商業利用することを了承する。またチームや観客の姿が映像もしくは画像に映り込んだり、アナウンスされた名前等が、映像に映り込む可能性があることを了承する。

【6】プレミアム8におけるチームの広報活動について

参加チームは

- ・自チームの試合の写真を撮影し、SNS等において告知や普及活動目的で公開することができる。
- ・自チームの試合がライブ配信されない場合、主催者と相手チームに許可を得た上で配信をすることができる。
- ・主催者がライブ配信する試合において、対象チームはその試合の撮影をすることができるが、ライブ配信をすることは厳禁とする。また、撮影した試合映像を無償で使用できるのは1試合上限3分までとし、それ以上を希望する場合は主催者に申請する。
- ・主催者がライブ配信する試合において、写真を撮影しその写真をSNSで発信することは問題ない。
- ・大会中に撮影された試合写真および映像、大会に絡む写真および映像は、商業的使用は厳禁とする。

プレミアム8におけるマーケティング権利は厳重に保護されていることを理解しなければならない。